

エコアクション21

～環境経営レポート～

(対象期間:2023年4月～2024年3月)



®環境省

エコアクション21

認証番号0008667



この国の味、ここから。

削り節、めんつゆの生産活動を通じ、
持続可能な社会に貢献します。



発行日:2024年5月30日

株式会社ニンベン 大井川事業所



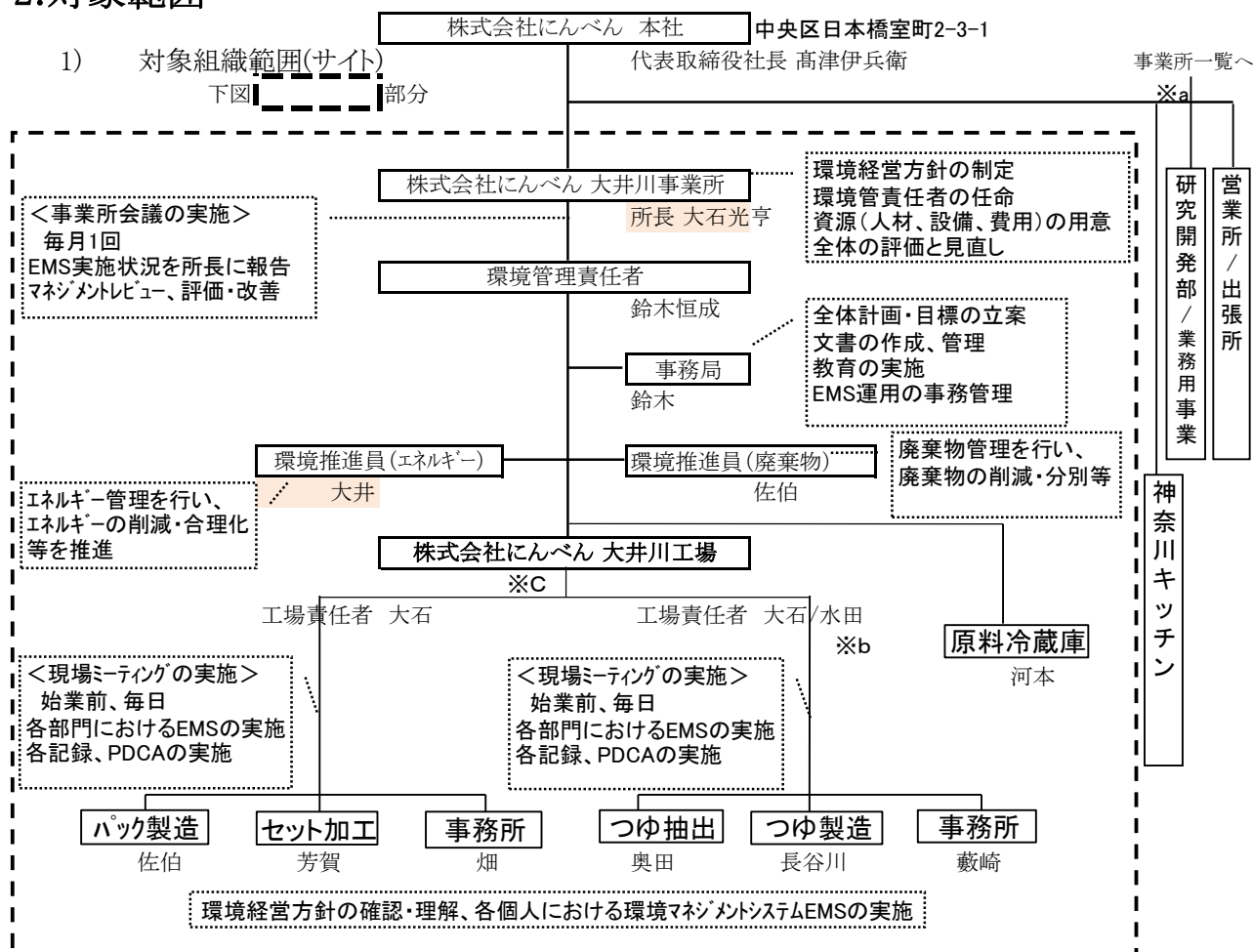
1.組織の概要

- 1 事業所名
株式会社 にんべん 大井川事業所
株式会社 にんべん 大井川工場

鯉節の冷蔵保管および下記工場の製造管理
 { 削り節(フレッシュパック)工場
 めんつゆ(つゆの素)工場
 - 2 所在地
静岡県焼津市高新田570-1
 - 3 代表者氏名
大井川事業所 所長 大石光亨
 - 4 環境管理責任者及び事務局連絡先
管理責任者/事務局 鈴木恒成
連絡先 TEL:054-622-4800 Email:t-suzuki@ninben.co.jp
 - 5 事業活動の内容
鯉節及び加工食品の製造
 - 6 事業の規模(2023年度)

2023年度	単位	にんべん大井川工場	大井川事業所	合計
		削り節工場	めんつゆ工場	冷蔵庫 他
従業員	(人)	36	17	10
延床面積	(m ²)	4,089	3,593	997
 - 7 事業年度
4月1日～翌年3月31日

2.対象範囲



- 2) 対象業務範囲
鯉節及び加工食品の製造

(株式会社にんべん 大井川事業所)

※b:2019/4/1～、にんべんフーズ第一工場はにんべん大井川工場に移管
※C:2022/4/1～、ふしいち大井川工場はにんべん大井川工場に吸収合併

株式会社になべん 会社概要

- ◆ 家庭用事業
スーパー・生協などに、「つゆの素」「フレッシュパック」「ソフトふりかけ」などの加工食品を全国展開している
- ◆ 業務用事業
削り節・だしパック・ふりかけ・液体調味料・つゆ類等を、主にコンビニ・外食産業・学校給食等へ販売している
- ◆ 海外事業
アメリカを中心に東南アジア、オセアニア、EU諸国の皆様にご案内し、海外のニーズに合わせた商品開発をしている
- ◆ 通信販売事業
インターネットの「になべんネットショップ」などにて、弊社商品、弊社の目で選んだ逸品の販売を行っている
- ◆ 直営小売事業
商品知識に精通した社員が、鰹節、つゆの素、惣菜等さまざまな商品を販売している
- ◆ 百貨店事業
全国有名百貨店の食品売り場を中心に展開している、進物・ギフト・ブライダル等に贈り物としてご利用いただいている
- ◆ 惣菜事業
「かつお節だし本来の旨味」を活かしたチルド、冷凍温度帯の惣菜を百貨店並べに量販店に販売している
- ◆ 飲食事業
飲食店「日本橋だし場はなれ」を展開し、だしの旨味を活かす“古典技”と新たな魅力の“はなれ技”を提案している

日本橋だし場 OBENTO

エキュート品川店 東京都港区高輪3-26-27 エキュート品川1F

一汁旬菜 日本橋だし場

西武池袋本店 東京都豊島区南池袋1-28-1 西武池袋本店 地下1F 西武食品館(おかず市場)

ニューマン新宿店 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-24-55 ニューマン新宿店 2F エキナカ

二子玉川 東急フードショー店 東京都世田谷区玉川 2-21-1 二子玉川ライズ・ショッピングセンター地下1F

松坂屋上野店 東京都台東区上野3-29-5 松坂屋上野店 地下1F 惣菜エリア

ラゾーナ川崎プラザ店 神奈川県川崎市幸区堀河町72-1 三井ショッピングパーク ラゾーナ川崎プラザ 1F

そごう横浜店 神奈川県横浜市西区高島2-18-1 そごう横浜店 地下2F 和惣菜売場

株式会社になべん 事業所一覧

※a		
	仙台営業所	仙台市宮城野区榴岡4-5-15
	関東営業所	川口市芝下2-19-6
	水戸出張所	水戸市赤塚1-1
	神奈川営業所	港北区新横浜2-6-13
	東海出張所	名古屋市中区錦3-1-30
	関西営業所	大阪市福島区福島1-4-26
	九州出張所	博多区博多駅東1-11-15
	研究開発部/業務用事業部	川口市芝下2-19-6
	神奈川キッチン	神奈川県川崎市川崎区大島1-25-1

株式会社にんべん 大井川事業所

環境経営方針

<基本理念>

1. 鯉節を通じて、お客様の期待を超える品質・サービス・価値を提供します。
2. ISO9001-HACCPを通じて、安全で安心できる正直な食品作りで社会に貢献します。
3. また、にんべん経営理念（顧客の利益、社員の利益、わが社の利益）のもと、積極的に環境負荷の低減を図り、環境保全活動に取り組みます。

<行動指針>

1. 次の課題について、環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。
 - ①電力・都市ガス等の省エネ推進による二酸化炭素排出量の削減
 - ②食品廃棄物の発生抑制と再資源化の推進
 - ③包材の簡素化と工程改善による包材ロスの削減
 - ④洗浄工程の改善等による水使用量の削減
 - ⑤環境に配慮した製品の提供
2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
3. 当従業員に、環境方針及び必要事項を周知し、全員参加による取り組みを目指します。社外に対しても環境活動レポートを作成・公表し、環境コミュニケーションに配慮します。

制定日：2011年4月1日

改訂日：2024年4月1日

(株)にんべん大井川事業所
所長 大石光亨

4.環境経営目標

環境経営目標は2010年実績を基準として、～2018年まで目標値の毎年1%削減としてきました(スライド方式)。

業務内容の変化が少ないため実態に合わせ、3ヵ年ずつ1.5%削減を目標としました(3年で見直し)。

(2020/2021/2022年度の3ヵ年1.5%削減、2023/2024/2025年度の3ヵ年1.5%削減、合計3.0%削減)

環境経営目標計画(～2025年度)		H22.4～23.3	2022.4～3	0.5%減	1.0%減	1.5%減	2023～2025 1.5%削減
項目	単位	2010年度 実績基準	2022年度 【目標】	2023年度 【目標】	2024年度 【目標】	2025年度 【目標】	
二酸化炭素 総排出量削減	t-CO ₂	1,279	1,152	1,146	1,141	1,135	2022年基準に 見直し
電力使用量	t-CO ₂	667	611	608	605	602	
ガス使用量	t-CO ₂	612	541	538	536	533	
廃棄物排出量削減	t	52.5	34.0	33.8	33.7	33.5	2022年基準に 見直し
一廃(可燃ゴミ)	t	17.2	21.7	21.6	21.5	21.4	
産廃(ハック焼却,PETボトル) 【食品廃棄物の発生抑制】	t	35.4	12.3	12.2	12.2	12.1	
総給水量削減	t	102,194	94,567	94,094	93,624	93,156	2022年基準に 見直し
上水使用量	m ³	44,340	32,015	31,855	31,696	31,537	
井水使用量	m ³	57,854	62,552	62,239	61,928	61,618	
再生利用等実施率(だしがら, 汚泥) 【食品循環資源の再生利用】	%	95.6	95	95	95	95	継続
グリーン購入(文具)	%	実績把握	40	40	40	40	維持
環境配慮型製造ラインの導入	点	維持継続	1	1	1	1	維持

電力の排出係数は2011年の中部電力の実排出係数0.518を過去に遡って算出しています。

5.環境経営目標の実績

環境経営目標実績(～2022年度)		A		B		B/A 評価→→	評価
項目	単位	2021.4～3 2021年度 実績	2022.4～3 2022年度 実績	2023.4～3 2023年度 【目標】	2023.4～3 2023年度 実績		
二酸化炭素 総排出量削減	t-CO ₂	1,149	1,135	1,146	1,075	0.938	○
電力使用量	t-CO ₂	634	643	608	610	1.003	▲
ガス使用量	t-CO ₂	515	492	538	465	0.864	○
廃棄物排出量削減	t	32.6	28.3	33.8	35.8	1.058	▲
一廃(可燃ゴミ)	t	15.9	13.5	21.6	12.8	0.593	○
産廃(ハック焼却,PETボトル) 【食品廃棄物の発生抑制】	t	16.7	14.8	12.2	23.0	1.879	▲
総給水量削減	m ³	74,537	72,931	94,094	69,147	0.735	○
上水使用量	m ³	32,514	32,036	31,855	23,214	0.729	○
井水使用量	m ³	42,023	40,895	62,239	45,933	0.738	○
再生利用等実施率(だしがら, 汚泥) 【食品循環資源の再生利用】	%	96.3	96.8	95	96.6	1.017	○
グリーン購入(文具)	%	40	42	40	42	1.055	○
環境配慮型製造ラインの導入	点	1	1	1	1	1.000	○

↑ 2019年度実績を踏まえ2020～2022年度の3ヵ年1.5%削減に取り組みました。

評価 : 削減項目は、B/Aが1以下の場合、目標達成○、それ以外は▲とし、増加項目は、その逆となります。

※化学物質については、めんつゆ配管洗浄用として定期的に使用しているため、目標に設定していません。

・2023年度「二酸化炭素 総排出量」は1,075(t-CO₂)で、目標対比93%でした。

2010年度に比べ、CO₂排出量 電力で57t、ガス使用で147t 減少しています。

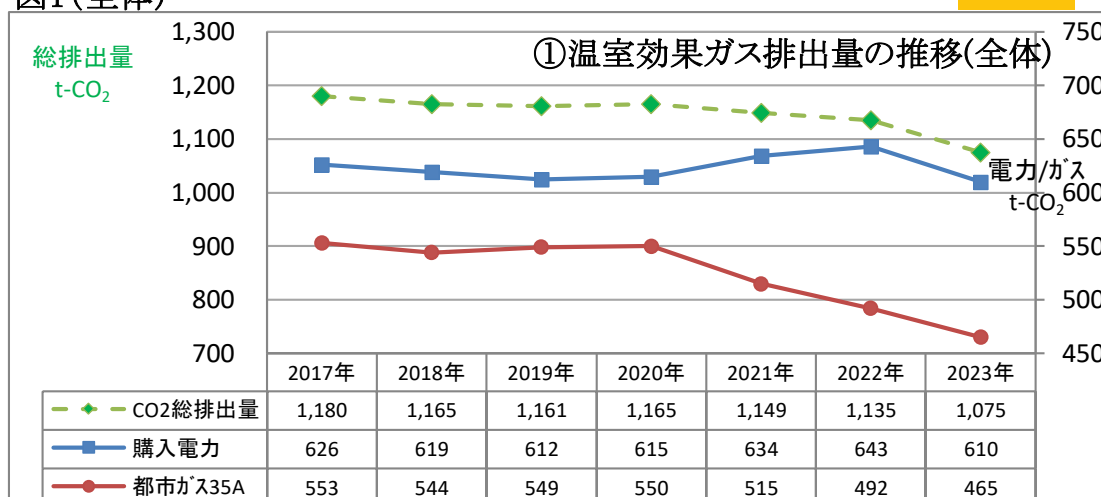
「電力使用量」「ガス使用量」とともに前年比95%と減少したため、二酸化炭素総排出量は減少しました。

廃棄物「PETボトル」は前年並みでしたが、「つゆ類廃棄物」が増加したため目標には達成しませんでした。

6.これまでの実績

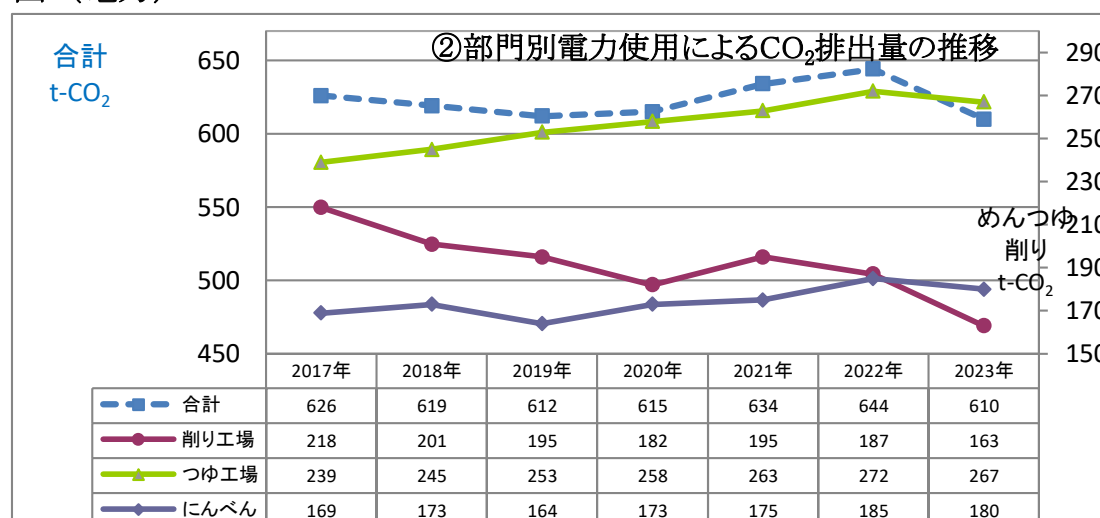


図1(全体)



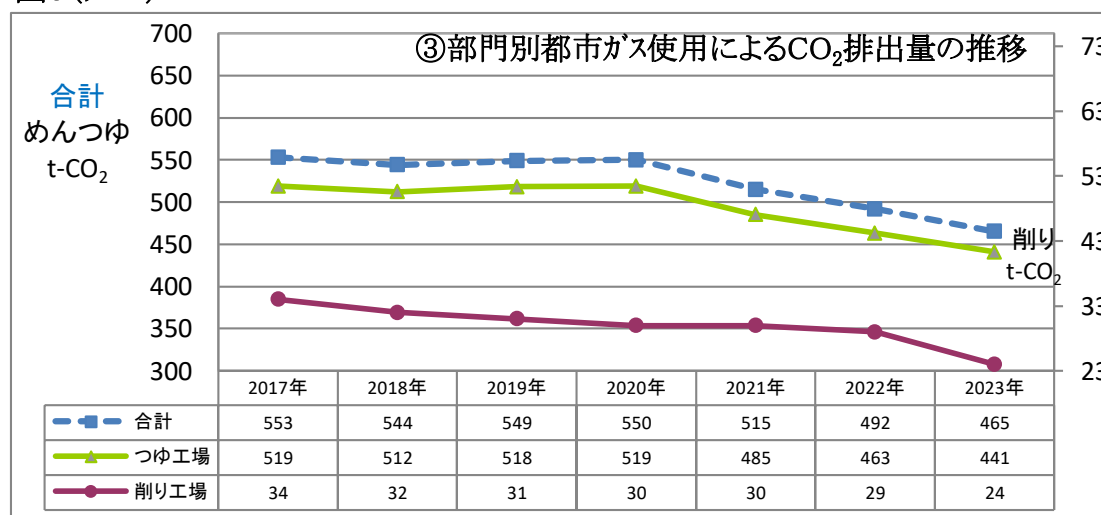
二酸化炭素総排出量は、目標対比93%と達成になります。

図2(電力)



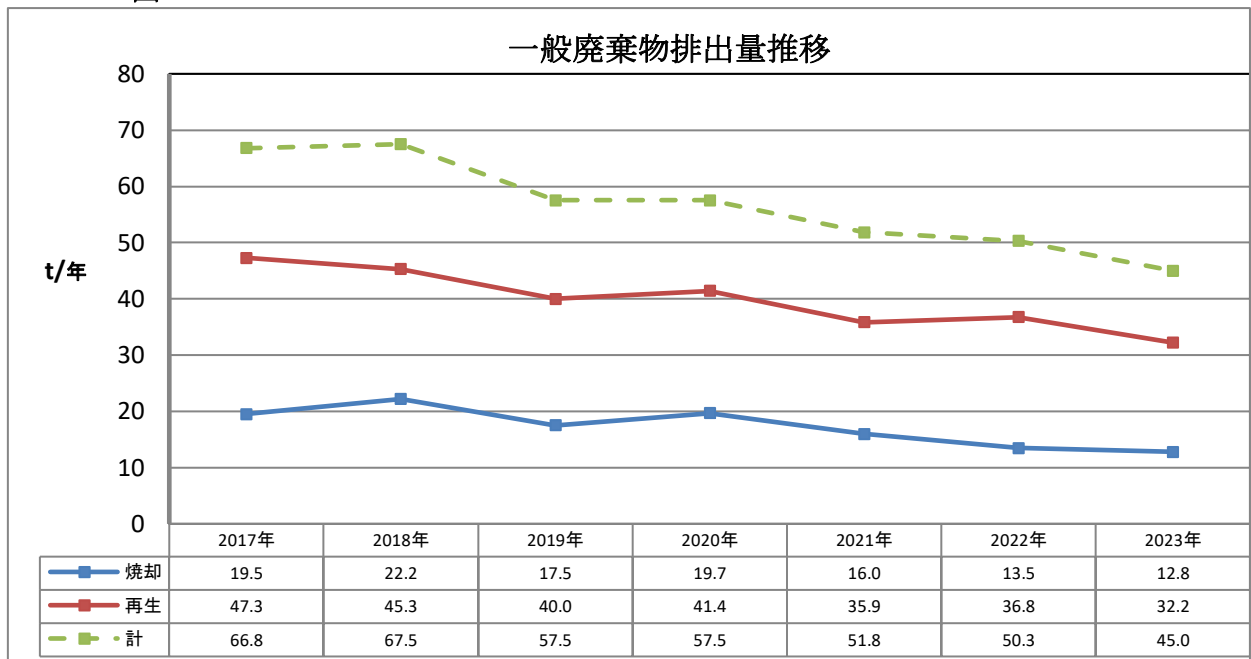
電力使用量は、すべての部門で前年より減少しましたが、事業所全体では目標対比100.3%です。

図3(ガス)



ガス使用量は、「つゆ工場」「削り工場」で減少しました。事業所全体では目標対比86%と達成になります。

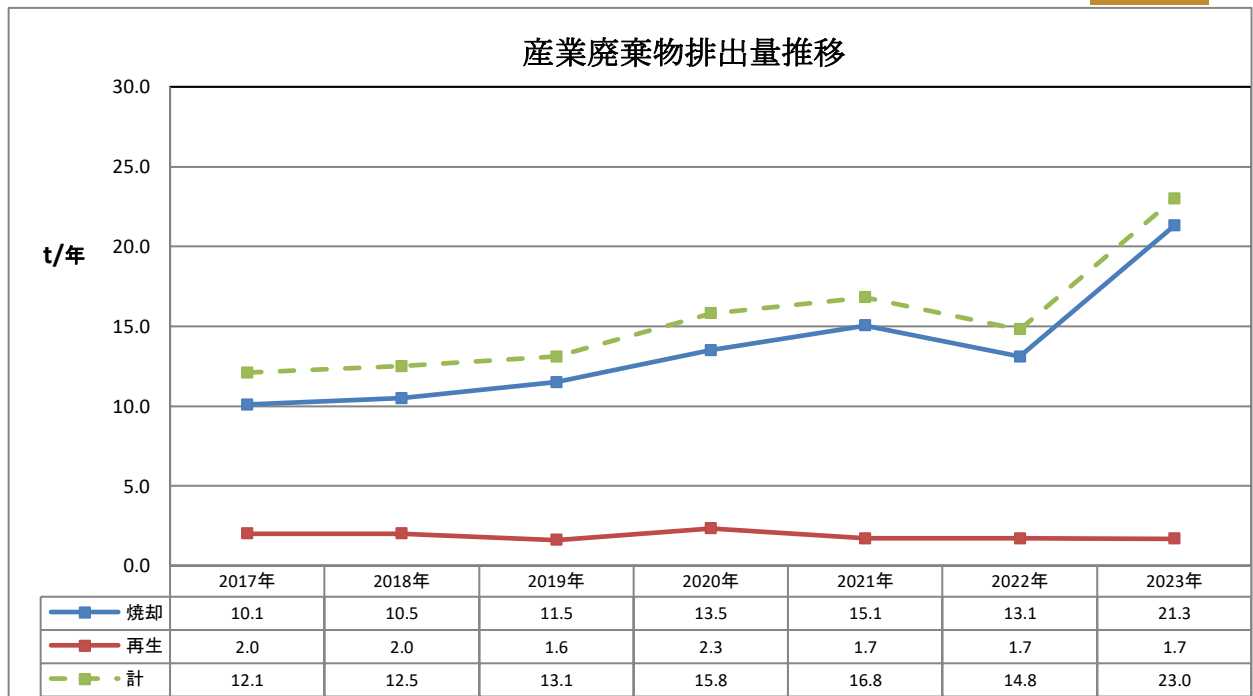
図4



※焼却(一般廃棄物)、再生(段ボール、雑紙、ビニール再生)
一般廃棄物は、全体的に減少傾向にあり、落ち着いています。



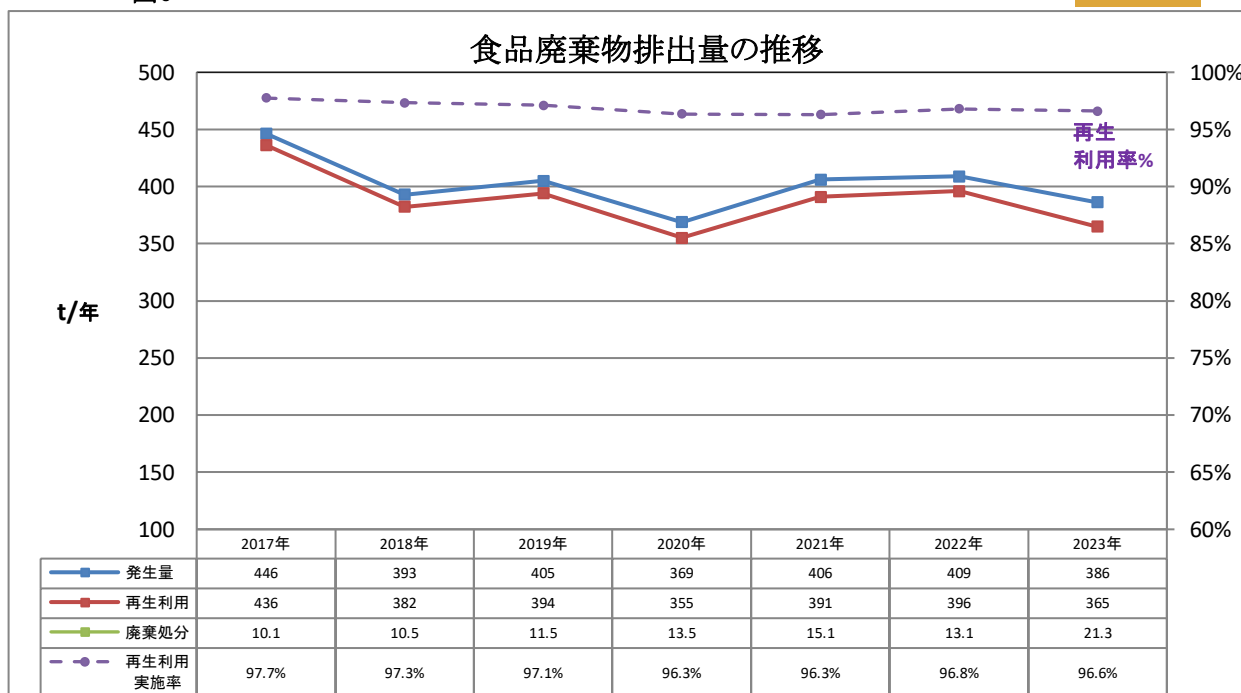
図5



※焼却(パック)、再生(ペットボトル)
2023年度、焼却が増加しています(削りパックは減少したが、つゆ類が増加した)。



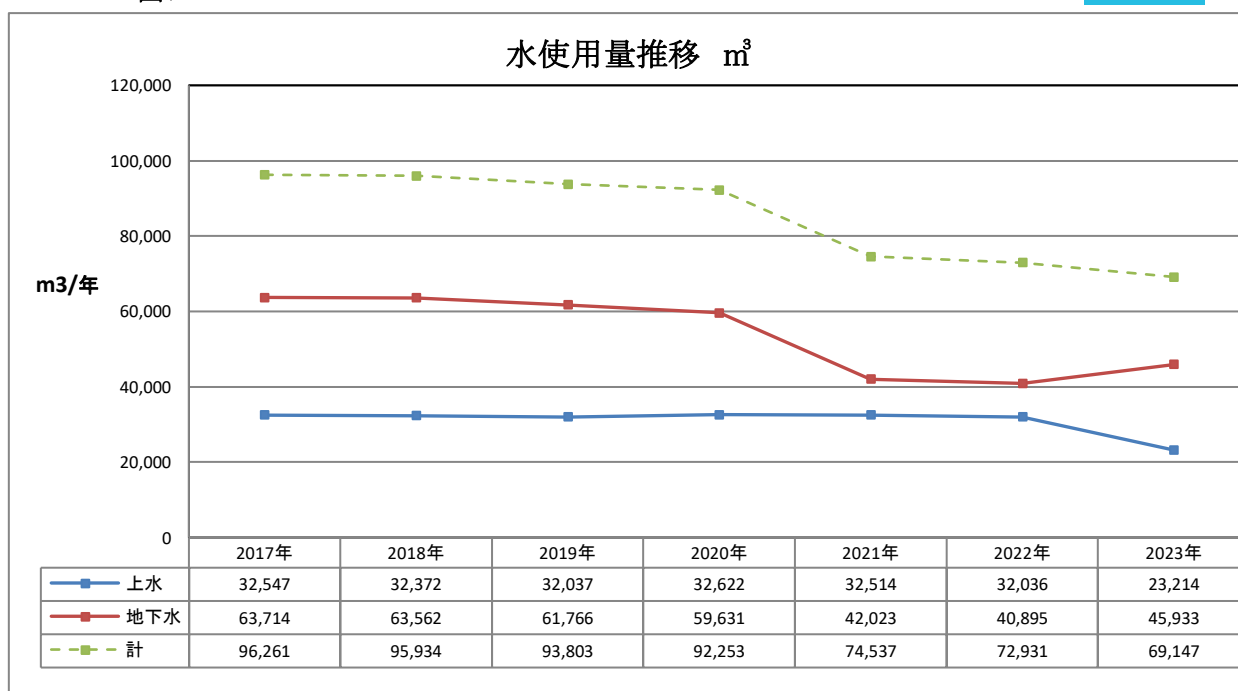
図6



※発生量(だしがら、汚泥、パック)、再生利用(だしがら、汚泥)、廃棄処分(パック)
 発生量、再生利用に大きな変化はなく、再生利用率は95%以上を維持しております。
 再生利用「だしがら」については飼料とする、「汚泥」については肥料化とする



図7



2020年度より、地下水の配管モレが改善され資源を有効に利用しています。

7.環境経営計画及び取組結果の評価並びに次年度の取組内容

取組期間(2023年4月～2024年3月)

※印:エコアクション審査月

2011.12.1 Kick off～

目標	担当部門			環境経営計画	2023年 ※												2024年			評価	コメント	次年度取組
					4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3						
CO2排出量の削減	電力使用量の低減	N1	NF	NB	エアコン設定温度の適正化、老朽化設備の更新	実施			周知											◎	適正使用、空調5台更新、デマンド確認	コロナ緩和、検証と更新
		N1	NF	NB	照明:スイッチと点灯場所の把握、掲示物の設置		実績報告													○	全要員が意識、単価UP対策	見直しと更新
		N1	NF		生産現場の照明管理(作業時、休憩時、終業時)															◎	ライトバー型LEDの更新、LEDマップ	初期LED更新
				NB	事務所内の照明管理(蛍光灯の部分消灯)				●蛍光灯の全廃、LED化											○	事務所内の部分消灯習慣化	蛍光管全廃、消灯継続
		N1	NF		コンプレッサーの適正稼動															◎	稼働時間の管理、記録用紙の更新	エア調査、適正圧力
		N1	NF		生産性・稼働率の向上による操業時間の短縮															○	製品形態変更による生産性向上	在庫見直し効率化
		N1	NF	NB	製造工程の変更、省力化へ変更															○	現場発の削りパック新商品試作	賞味期限延長ロット管理
		N1	NF	NB	電気製品の未使用時オフ															○	個人管理実施、戸締り当番再教育	確認継続、新人教育
				NB	電力使用量の見える化				●電力デマンドの注力											○	使用量実績の確認とデータ管理	月次確認、単価対策
	ガス使用量の低減		NF		ボイラー4台の適正稼動、計画的な設備更新	実施			継続											○	高効率ボイラー更新の検証	更新機の効果検証
		N1	NF	NB	配管の保温材、ジャケット等の見直し															○	つゆ抽出機更新、配管保温施工	機器更新の検証継続
廃棄物の低減	一般廃棄物の低減	N1	NF	NB	分別による焼却ゴミの低減	実施			継続											○	プラ、紙、その他の分別実施	5S活動による分別
		N1	NF	NB	ゴミの再生化率 向上、資源ごみの分別・リサイクル		●5Sの継続													○	プラ低減の製品試作実施	環境配慮製品の実現
		N1		NB	「雑紙」分別の徹底															○	意識向上、習慣化、業者引き取り	継続、電子化の推進
	産業廃棄物の低減	N1			パック焼却の低減(削り節パック歩留り向上)	実施			継続											◎	パック賞味期限の延長、歩留り向上	データ収集と共有化
		N1	NF		機械メンテナンスによる不良ロスの低減															○	目標管理により低減	ISO目標管理
			NF		ペットボトルロスの低減(めんつゆの歩留り向上)															○	めんつゆの歩留り向上(だし抽出向上)	ISO目標管理
			NF		食品リサイクル率の100%維持(鯉節残渣の再生)															○	排水処理施設の適正管理	確認と検証
							リサイクル報告															
総排水量低減	給水量の節水	N1	NF	NB	無駄な使用をなくす、流しの水の節水	実施														○	井水湧水の利用により市水削減	効果継続
		N1	NF	NB	配管漏水を点検する、洗浄方法の見直し		●確認													○	配管漏洩なし、自然災害なし	継続と見直し

N1:削り工場、NF:つゆ工場、NB:にんべん冷蔵庫

評価記号:最良◎→良○→可△

(2022/4/1～N1:にんべん大井川工場、NB:にんべん大井川事業所)

担当部門	環境経営計画
・ 事務	グリーン購入を積極的に進める 社内webを利用し情報共有を図る(ペーパーレス化)
・ パック工場	環境配慮型製造ラインの維持に努める プラスチック低減の製品開発に努める
・ パック工場	再生利用等実施率の維持向上に努める
めんつゆ工場	つゆ類の廃棄物を減少させる
	「汚泥」については肥料化とする 「だしがら」については飼料とする

環境負荷評価

＜省エネ設備および経営資源＞

2013年度	1.インバーター制御コンプレッサー【県補助金】	2.倉庫LED高天井照明22灯【県補助金】	3.ボイラー室 ヘッダー蒸気配管の保温工事
2014年度	4.屋根の遮熱塗装(つゆ棟、製品棟)		
2015年度	5.高効率冷凍機(めんつゆの醤油・6.製品冷蔵庫)【補助金】	7.高効率空調機(だしの素の2F調合室)【補助金】	
2016年度	8.ふしいち削り場セット場LED照明69灯【補助金】		
2017年度	9.高効率空調機(2Fだしパック充填室)	10.ロボット自動化設備(2Fだしパック詰め)	
2018年度	11.工場外灯LED、製品棟トイレLED	12.冷凍機、空調機の法定点検と整備、(山七ボイラー【補助金】)	
2019年度	13.製品棟廊下LED、出荷場LED【補助金】	14.変電設備キュービクル変圧器の更新【補助金】	
2020年度	15.LED照明(1F充填室、つゆ品管/食堂/充填)		
2021年度	16.ボイラー更新(高効率ボイラー更新1.5t×1台)	17.冷凍機と空調機の更新(原料冷蔵庫、セット場他4台)	
2022年度	18.ボイラー更新(高効率ボイラー更新1.5t×2台)【補助金】	19.空調機の更新(6部屋8台)【補助金】	
	20.LED照明(品管室他、ケビン梱包室)40台		
2023年度	21.空調機の更新(5台)【補助金】	22.LED照明(つゆ充填室)30台【補助金】	



・EA21は10年継続し事務局より「感謝状」が届く、社内掲示版で全社に紹介した。



・2012年より取り組み、EA21活動が浸透した。継続することが効果につながる。



8.環境関連法規等の遵守状況確認の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

承認者	確認者
2024.5.30 事業所長 大石光亨	2024.5.30 環境事務局 鈴木恒成

1.環境関連法規等の遵守状況 当事業所に係る環境関連法規について、下記の通り遵守状況を確認・評価した結果違反はありませんでした。

環境関連法規等の名称	規制内容	詳細	適用範囲および備考	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物の管理、排出 産業廃棄物保管 産業廃棄物委託基準 産業廃棄物管理票	廃棄物の適正処理、処分の委託 飛散、流出、地下浸透の防止、保管場所の掲示 産業廃棄物の運搬、処分の委託契約、現地確認 マニフェストの交付、管理、年間交付状況報告 A、B2票、D票、E票の保管管理	一般廃棄物 産業廃棄物 許可証の写し確認 毎年6月末市役所へ 5年間保管	遵守
容器リサイクル法	事業者の責務 容器包装入り製品の製造	分別収集の協力管理、排出抑制 運搬、リサイクルの委託	ペットボトル	遵守
食品リサイクル法	食品の排出事業者 食品再利用の促進	食品残さの再利用、前年度の基準実施率（維持向上） 運搬、リサイクルの委託 農水省への定期報告	鯉節残渣 食品再生利用等の実施率（80%以上）	遵守
※ 水質汚濁防止法 (公害防止協定)	水質基準の遵守 測定の記録と保管 有害物質含有汚水の地下浸透	静岡県知事届出 水質検査の定期測定（pH、BOD、SS）、汚泥処理 公害防止協定基準値	排水処理 毎月実施（2検体）	遵守 2024/2/28
浄化槽法	保守点検、清掃、定期検査	浄化設備（3箇所）の委託管理、4回/年の保守点検、1回/年の定期検査	浄化槽	遵守 2023/8/24
※ 大気汚染防止法	ばい煙発生施設の設置届出 排出基準の遵守 測定の記録と保管 大気汚染物質排出量総合調査票	小規模ボイラ（取扱技能講習） ばいじん（基準値0.10g/m3N）窒素酸化物（150volppm） ばい煙量等の定期測定 環境省大気環境課への報告	静岡県知事届出 ボイラ 年2回実施 3年に1回報告	遵守
※ 騒音規制法 ※ 振動規制法 (静岡県生活環境保全条例)	対象特定施設の届出 規制値の遵守	騒音（第2種区域） 振動（第1種区域） 空気圧縮機の定格出力3.75kW以上	コンプレッサー 焼津市長届出 冷凍機、空調機、コンプレッサー	遵守
悪臭防止法	規制基準の順守義務 事故時の措置と報告	臭気指数基準を順守 特定悪臭物質（政令指定22物質）の把握 嗅覚測定	ボイラ 排気ダクト	遵守
※ 消防法 (危険物の規制に関する政令)	屋内消火栓の設置 火災報知機の設置 危険物の保管、取扱い	消防用設備等の点検と設置届 防火管理者選任届出、焼津市消防長届出 乙種第4類-引火性液体（エタノール）、アルコール事業法 危険物取扱者、貯蔵所	年2回設備点検 甲種防火管理者 アルコール 経済産業局届出	遵守
高圧ガス保安法 (一般高圧ガス保安規則)	高圧ガス製造施設等の届出 高圧ガスの貯蔵、消費 定期点検、自主点検	製造施設届出 第一種圧力容器 定期自主検査記録	窒素ガス（液体窒素） 静岡県知事届出 年1回実施	遵守 2024/4/24
労働安全衛生法	安全衛生管理体制 労働者の就業、職場環境 健康の保持増進 免許証、技能講習	安全管理者、衛生管理者の選任、安全衛生委員会 労働災害時の所轄官庁への報告届出 定期健康診断の実施 フォークリフト、第一種圧力容器、酸欠作業	第一種衛生管理者 工場設備、従業員 年1回実施	遵守 2023/8/18
食品衛生法 施行条例（静岡県条例）	食品等事業者の責務 食品衛生検査施設 食品取扱者の衛生管理 JAS規格制度 品質表示基準制度	施設、食品等の衛生管理、衛生教育の実施 保健所による食品衛生監視票の発行 年2回の検便実施 削りぶしJAS規格の遵守 削りぶし品質表示基準、めん類等用つゆ品質表示基準	工場設備、従業員 年1回監査実施 年2回検便実施 年1回監査実施 年1回監査実施	遵守 2024/1/5 2023/8/18, 2024/2/19 2024/1/25 2023/11/16
※ JAS法				
フロン排出抑制法	第一種特定製品整備者の引渡義務 フロン類の漏えい点検	エアコン、冷蔵・冷凍機器の整備 定期点検（7.5kW以上、1回/3年）、簡易点検（1回/3ヵ月）	空調機、冷蔵庫 定期点検（業者依頼）、簡易点検（自主確認）	遵守
※ 静岡県地下水の採取に関する条例 (静岡県条例)	水量測定器の設置及び採取量の報告 揚水設備設置の届出 協議会への加入 利用合理化	毎年の静岡県、焼津市、協議会への報告義務 (揚水設備の現況・地下水の採取状況)	年1回報告実施	遵守 2024/1/10

2.環境法令の遵守違反、訴訟等の有無

※(株)ふしいち-(株)にんべん吸収合併に伴う各種変更済み(2022/4/1～)

また、過去3年間にわたって関連機関からの違反指摘や利害関係者からの訴訟等ありませんでした。

エコアクション21 9. ～代表者による全体評価と見直し～	発行日	2024.5.30
	作成者	環境事務局 鈴木恒成

1.環境管理責任者からの報告

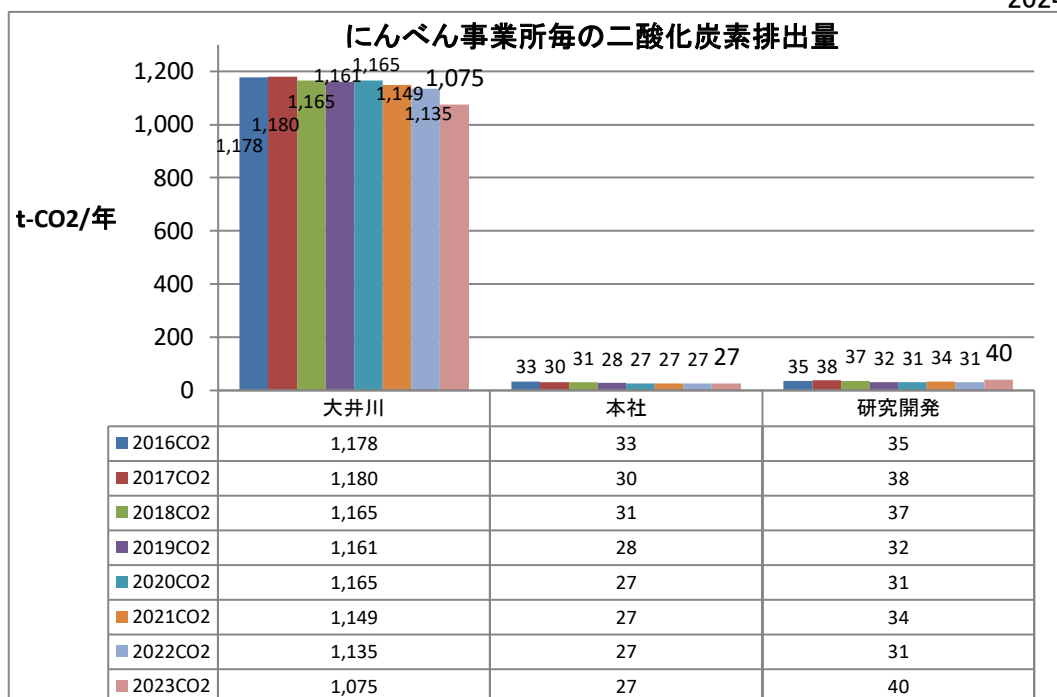
項目	管理責任者の報告および提案
1 環境経営方針	環境経営方針(改定日:2024年4月1日)、(株)にんべんの理念に沿った内容を確認した。QMSと並行し環境活動を取り組み、積極的に環境負荷の低減を図った。
2 環境経営目標の達成状況	2023年度、原材料高騰による価格改定があり生産数に影響を与えた。CO2総排出量は目標対比93%、2022年度に続き目標を達成した。
3 環境に関する組織体制	2023年度、前年同様、組織体制や業務内容に変化はなかった。会社-ISO9001-EA21の組織体制を連動させ、生産性向上/品質向上/安定納期に繋げた。
4 環境経営計画の実施状況	2023年度、計画どおり、空調機5台、LED照明30台の更新を実施した。2013年度～省エネ補助金を利用し、高効率設備の更新に継続して実施した。削り節パックの賞味期限延長/価格改定による内容量変更を実施し廃棄ロス削減に貢献した。運用管理は、節電/節水の基本的行動を継続し、電力デマンドデータに注力した。廃棄物は、削り節パックは減少したがつゆ類が増加したため、全体的に増えた。
5 環境関連法規等の遵守状況	環境法令に係る件は、例年通り実施し異常なし。法令遵守を実施できた。工場排水は基準値内で適切に処理できた。
6 外部からの環境に関する苦情や要望	2023年度、当工場の外部からの苦情、緊急事態、食品事故による製品回収はなかった。
7 その他のシステム要素	環境マネジメントシステム(エコアクション21等)の普及啓発 2012年より取り組むEA21活動で、効果的なスパイラルアップ(継続的改善)を図っている。 QMSとEMSに共通のPDCAサイクルを定着させ運用している。

2.代表者・管理者のシステム見直しと必要性の有無

項目	見直しの必要性	指示内容
1 環境経営方針	有 ・ ☒ 無	全従業員に再度、周知する。新人には入社時に説明する。
2 環境経営目標の達成状況	有 ・ ☒ 無	2023-2025年度の3ヵ年目標を計画し、単年度目標を設定する。省エネ補助金の実績報告と連動させる。
3 環境に関する組織体制	有 ・ ☒ 無	にんべん組織図に沿った環境組織体制のもと活動を継続する。QMSとEMSを統合し効果的運用を行う。
4 環境経営計画の実施状況	有 ・ ☒ 無	「多能工化」「電子化/ペーパーレス化」による合理化に着手する。1年間継続し次年度以降(繁忙期の体制強化)に繋げるよう行動す
5 環境関連法規等の遵守状況	有 ・ ☒ 無	環境関連法令の最新版を確認し、遵法チェックを定期的におこなう。
6 外部からの環境に関する苦情や要望	有 ・ ☒ 無	外部からの苦情がないよう予防する。また、環境汚染が最小限になるよう見直す。避難訓練の年間計画を作成し実施する。
7 その他のシステム要素	有 ・ ☒ 無	外部変化に対応できる仕組み/生産体制をつくる。にんべん2024年スローガンのとおり“困難を乗り越え、未来へ変化する”。つゆの素発売60周年、削り節フレッシュパック発売55周年の節目となる。

3.全体評価と総合コメント

・3年にわたり猛威を振るい続けた新型コロナウイルスも昨年5月には感染症法上の分類が2類から5類に移行したことで、社会生活や経済活動はコロナ以前の状態によりやく戻りつつあり、日本への外国人インバウンド旅行者も戻ってきています。しかし、地政学リスクが大きくなり、ロシアのウクライナ侵攻の長期化、電気・ガス料金や物流コストの上昇、人手不足と人件費の高騰など、直面しております。弊社も急激なコスト上昇に販売価格の値上げが間に合わず、大変厳しい状況に置かれています。 ・その中でも、省エネ補助金を利用し空調機5台、LED照明30台更新致しました。 ・生産数減少の影響もありますが、上記の取り組み等で2022年に続き目標達成出来た事は良かったと思います。 ・また、削り節パックの賞味期限延長や価格改正による内容量変更を実施し、廃棄ロス削減(フードロス削減)に貢献しております。 ・2024年も、引き続き省エネ補助金を利用し節電(CO2総排出量削減)に努めます。 ・地政学リスク(外部変化)に対応できる、強い組織を作ります。 ・違法行為は行いません、法令を遵守いたします。 2024年5月30日 にんべん大井川事業所 所長 大石 光 亨
--



埼玉県川口市芝下2-19-6

- ・(株)にんべん研究開発部
- ・(株)にんべん業務用事業部
- ・(株)にんべん関東営業所

2023年度 CO₂排出量 40t(約30人)

東京都中央区日本橋室町2-3-1

- ・(株)にんべん本社

2023年度 CO₂排出量 27t(約140人)

静岡県焼津市高新田570-1

- ・(株)にんべん大井川事業所
- ・(株)にんべん大井川工場 製品棟/つゆ棟

2023年度 CO₂排出量1,075t(約70人)

※2019/4/1～、にんべんフーズ第一工場はにんべん大井川工場に移管
 ※2022/4/1～、ふしいち大井川工場はにんべん大井川工場に吸収合併